

市長提案説明要旨

令和2年9月4日

本日ここに令和2年第3回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出いたしました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

新聞報道等でもご承知かと存じますが、鹿嶋市宛に庁舎を爆破するとのメールが入り、鹿嶋警察署と協議の上、市民と職員の安全を最優先に考え、爆破予告のあった8月25日・26日の両日、当該時間の前後に一部庁舎を臨時閉庁としました。突然の閉庁で、市民の皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしましたことに対し、まずはお詫び申し上げます。

このようなメールが多くの自治体に届いているとの報道もありましたが、今後も市民の安全を第一に考え、適切かつ毅然とした対応で臨んでまいります。

(新型コロナウイルス感染症関連)

新型コロナウイルス感染症につきましては、6月以降、全国的に感染拡大の状況にあり、8月末日現在で、茨城県では545人、本市におきましても7人の方の感染報告がありました。

検査につきましては、鹿島医師会のご尽力により、県内でもいち早く開設していただきました鹿行地域PCR検査センターにおいて、8月末日現在で、1,260件（うち鹿嶋市民320件）の検査を実施しております。また、来年3月末まで継続していただけるともうかがっております。松倉会長を始めとする医師会の皆様、そしてご協力をいただいている関係者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

併せて、地域の医療機関のご協力により、積極的にPCR検査を実施していただいております。感染の可能性のある方に対し、幅広くより迅速に検査する体制が整ってきております。

市といたしましては、潮来保健所や医療機関等と連携して情報把握に努めるとともに、鹿嶋市新型コロナウイルス感染症対策本部を適宜開催し、鹿島医師会等、専門家のご意見も踏まえながら、感染拡大の防止を図るとともに、新型コロナウイルスやその疑い患者等の対応を行っていただいている医療機関へ財政支援を行っております。

私は、ある庁内会議で職員に向けて「市役所は対策本部であり、市民が安心できる生活を守る砦でもあることから、決して油断することなく、最大級の注意を払うように」という指示をしました。皆様方におかれましても、新しい生活様式を実践

するなど感染症防止対策を徹底し、落ち着いた行動をとられるようお願いいたします。

また、感染した方やそのご家族、治療に当たる医療機関関係者等に対する誹謗中傷や心ない言動も、全国的に問題となっておりますが、このようなことは絶対にあってはなりません。

市では、茨城県や医療機関等と連携し、必要な対策を講じながら市民の皆様の不安軽減に努め、この難局を乗り越えることができるように取り組んでまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

(国内情勢等)

先月17日、内閣府が公表した4月～6月期の国内総生産（GDP）の一次速報では、年率換算で27.8%減と、マイナス幅は1980年以降で最大となりました。

しかし、同じく内閣府が発表する8月の月例経済報告では、景気の総括判断を「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる」とし、7月の表現を据え置きました。しかし、先行き不透明な感染症の状況や先月28日の安倍首相の辞任発表が内外経済にどのような影響を与えるのか、今後の動きに注視していく必要があります。

その一方で、地域に目を向けますと、先月4日、日本製鉄は2020年4月～6月期連結決算の最終利益が420億円の赤字となり、9月中間決算では純損益が2,000億円の赤字になりそうだと発表しました。既に、一部の製鉄所での高炉休止や送風を停止して再稼働できる状態で休止するバンキングの実施が報道されていますが、新型コロナウイルスの感染拡大で製造業を中心に需要が減っていることから、さらなる合理化対策の前倒しや追加を検討していくとしています。

このような動きは必然的に市税にも影響し、今回の補正予算にも計上させていただきましたが、減収の確定に伴う法人市民税の歳出還付も大きな額となっております。あらゆる業界が苦境にあえいでおり、一日も早くこのコロナ騒動の沈静化を切に願うところです。

《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

(スポーツでつながるまちづくり)

1年延期となった『東京2020オリンピック』のスケジュールが、7月17日、大会組織委員会から公表されました。茨城カシマスタジアムでのサッカー競技は、令和3年7月22日から8月5日までのうちの8日間で、男子が準決勝を含む6試合、女子が3位決定戦を含む5試合の計11試合の開催となります。

現在、大会組織委員会、国際オリンピック委員会、国、東京都において、大会が安全・安心に開催されるようにコロナ対策やサービスの見直しについて詳細な検討が進められております。市といたしましても、市民の皆様とともに、引き続き準備を進めてまいります。

(未来を創るひとつづくり・まちづくり)

友達と目標を設定し、協力し合いながら活動する部活動は、中学生にとってとても大切な体験です。しかし、感染症拡大防止のため、総まとめとなる夏の総合体育大会が中止となってしまいました。そこで、本市の教育会・校長会によって、夏季休業期間中に代替えの大会となる『カシマ ドリーム マッチ』が開催され、子どもたちは全力で競技に打ち込んでいました。主催者が「子どもたちはどんな困難に遭遇しても夢と希望を常に持ち、力強く歩み続ける力を身に付けてほしい」と話していましたが、私もそう願ってやみません。

8月20日から2学期が始まりましたが、市内すべての公立小中学校に、温度測定できるサーモカメラを導入するとともに、空気中のウイルスや雑菌などの汚染物質を捕集・軽減できる抗菌フィルターをエアコンに設置し、文部科学省が示す「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（学校の新しい生活様式）」を踏まえた教育環境の構築に努めております。今後も引き続き、こまめな水分補給等の熱中症対策を講じつつ、アルコール消毒液等の消耗品についても学校へ適時配布するなど、児童生徒の安全を確保してまいります。

鹿嶋の芸術・文化・歴史・伝統をテーマとした『2020 KASHIMA 文化交流フェスティバル』が、7月24日から8月2日までの間、まちづくり市民センターで開催されました。

鹿嶋市美術展覧会会員特別展や、各地区で親しまれている郷土かるたに加え、今年度新たに作成された『鹿嶋市郷土かるた』の展示もあり、あらためて鹿嶋の歴史や伝統文化・魅力を感じることができました。

8月29日に、大野潮騒はまなす公園駐車場北側のふれあいサロン・オアシスで、鹿嶋市食育クラブわかば主催による『わかば応援ボックス』の配布が行われました。これは、農協や市内企業等が、農産物や缶詰等を協賛品として持ち寄り、コロナ禍で収入が減少している子育て世帯に対してプレゼントをする企画で、当日は、多くの方々の笑顔を見ることができました。市といたしましても、このような民間団体等の取組みを引き続き支援してまいります。

(地域資源を生かしたまちづくり)

国は、風力発電エネルギーを2030年度までに2017年度と比べて約3倍

にする目標を設定しており、再エネ海域利用法における促進区域に7月21日付で千葉県銚子沖が指定されました。また、近接する鹿島港につきましては、一昨日の2日、国土交通省から鹿島港の港湾管理者である茨城県知事に「基地港湾」としての指定書が交付され、風車など洋上風力発電設備を事前に組み立てる基地港湾として外港公共ふ頭が活用されていくことが決まりました。

洋上風力発電設備には、長さ90m、重さ400tを超えるともいわれるものも含めたパーツが1万～2万点あることから、外港公共ふ頭は、それに耐えうる地耐力を備えた岸壁の整備が必要になってまいります。引き続き、関係機関と連携し、太平洋側の発電ポテンシャルエリアにおける拠点港として、鹿島港の継続的な活用が図られるように国へ要望してまいります。

昨年度から進めてまいりました鹿島神宮駅前広場リニューアル事業につきましては、広場のバリアフリー化やトイレの新設工事、観光案内所の移設が完了し、6月1日から供用しております。駅前広場は、東京オリンピック開催に伴うインバウンドを含め、多くの観光客をお迎えする玄関口であり、鹿嶋市中心市街地活性化事業の一つとして整備したものです。奇しくも、JR鹿島線は、今年で開業50周年を迎えました。開業当時の広報紙を見ますと、当時の町主催で祝賀式典を盛大に行うなど、歓迎ぶりが記録されていました。

なお、JR東日本では、今年12月から来年3月にかけて、クルーズトレイン『TRAIN SUITE（トラン スイート）四季島』が14便、鹿島神宮駅を訪れます。また、自転車ごと乗車できるサイクルトレイン『B. B. BASE（ビー・ビー・ベース）』が、10月から鹿島線にも延伸されることが発表されています。鉄道で来られる新しい客層にも、鹿嶋の良さを感じ取っていただき、再訪を期待するところです。

例年10月下旬に開催している本市最大の市民参加型イベントの『鹿嶋まつり』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者の安全を第一に考え、今年度の開催はやむなく中止することと決定いたしました。今後につきましては、代替えとなる小規模イベントなども検討しながら、次年度の開催に向けて準備してまいります。

（市民と共に創るまちづくり）

今般の新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内商業者を支援し、地域経済を下支えすることを目的に、『かしま応援チケットープレミアム付商品券ー』を発行いたします。

今回の発行では、9月15日まで事前申込みを受付けし、販売価格1万円で、プレミアム率50%となる額面1万5千円分の商品券を2万セット販売することとしており、10月からご利用いただけるように準備を進めております。

多くの市民の皆様にご購入いただき、地域における消費への影響の緩和が図られるよう、商工会など関係機関と連携して実施してまいります。

（住んで安心のまちづくり）

敬老の日を迎えるにあたり、敬老者の皆様、誠におめでとうございます。

敬老会につきましては、本来であれば各地区の敬老会会場において、皆様の様子をおうかがいしながらお祝いの言葉を述べさせていただくところですが、第2回定例会でも触れさせていただきましたとおり、感染症拡大防止の観点から今年度は形態を変更させていただくことといたしました。誠に残念ではございますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

式典の代わりに、『長寿祝い膳応援事業』と銘打ち、2,000円相当分のお食事券をお贈りいたします。この事業には、市内60を超える店舗が協力店として登録していただき、一部の店舗では出前や持ち帰りも可能です。このコロナ禍において外出を控えるなど、ご不便な日々をお過ごしいただいている高齢者の皆様に元気づけたい、併せて市内飲食店を応援したいという目的もございますので、ぜひご家族やご友人とご一緒に、市内の飲食店でおいしいお食事を召し上がっていただきたいと思っております。

（自立した信頼のあるまち）

今年は、5年に一度の国勢調査の実施年であります。

本市においては、市内を441調査区に分け、総勢294名の調査員にご協力いただき、すでに調査書類の配布が始まっております。

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住む全ての人・世帯を対象とする調査で、その結果は、選挙区の区割りや地方交付税の算定基準、社会福祉、雇用施策、防災対策といった行政の基礎資料のほか、学術研究や企業における商品・サービスの需要予測などに幅広く利用されます。

調査員の回収、インターネットでの受付、どちらも10月7日が期限となっておりますので、市民の皆様のご協力のほど、よろしく願いいたします。

9月1日から、国が総合経済対策で実施するマイナポイントの付与が開始されました。このマイナポイントは、マイナンバーカードを取得し、マイナポイントの予約・申込みをすれば、キャッシュレス決済サービスの前払い等により最大で5,000ポイントが当該サービスのポイントとして付与されるものです。7月末日現在のマイナンバーカードの交付割合ですが、鹿嶋市では17.6%と、国や県の平均に比べ、若干遅れを取っている状況にあります。

今回のマイナポイントを契機に、多くの方がマイナンバーカードを取得することが見込まれることから、更なる普及・啓発に努めてまいります。

最後に、特別定額給付金の状況です。当市では5月1日からオンライン申請を開始し、その後、手書きによる先行申請及び郵送申請などで受付を行い、8月20日をもって3ヶ月間の受付期間を終了しました。一部に書類不備で確認中の方はいますが、8月末日現在で67億4,040万円、率として99.8%の方に支給することができましたことを、この場をお借りして報告させていただきます。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《決算認定》

次に、本議会で認定をいただく、令和元年度決算についてであります。

一般会計ですが、歳入総額は前年度比4.7%減の252億1,253万7千円、歳出総額は、前年度比4.4%減の241億6,313万4千円となりました。

この増減の要因は、歳入では、固定資産税や個人市民税の増による市税が増となったものの、普通交付税や震災復興特別交付税の減による地方交付税、幼児教育無償化に伴う保育料などが減となっており、歳出では、プレミアム付商品券事業の皆増や屋内温水プール整備事業や小学校大規模改造事業などの皆減、東日本大震災復興基金積立金の減などによるものです。

歳入歳出の差引額は、10億4,940万3千円で、繰越財源を差し引いた実質収支は、8億2,820万9千円の黒字となりました。

規定により、この実質収支額の2分の1相当額として、4億2,000万円を財政調整基金へ積み立て、本年度への繰越金は4億820万9千円となりました。

特別会計ですが、7会計の総計といたしまして、歳入が2億2,290万8千円減の128億3,592万8千円、歳出が4億617万4千円減の125億8,912万2千円となり、歳入歳出の差引額が2億4,680万6千円の黒字となりました。

引き続き、持続可能で安定的な財政運営ができるよう、行財政改革の取り組みを進め、予算の効率的、効果的な執行を心掛けるとともに、市民の皆様が安心して暮らせる鹿嶋市を目指してまちづくりを推進してまいります。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が4件、条例関係議案が2件、人事関係議案が2件、道路関係議案が2件、認定議案が4件、合わせて14件であります。

まず、予算関係議案は、令和2年度の一般会計及び特別会計などの補正予算であります。

一般会計補正予算については、観光関係事務経費、その他の市道整備事業、小・中学校教育振興支援事業、公民館施設管理費などを計上しております。

介護保険特別会計補正予算については、令和元年度事業費確定に伴う国庫支出金等返還金などを計上しております。

下水道事業会計補正予算と水道事業会計補正予算については、職員給与費などを計上しております。

条例関係議案は、鹿嶋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例などであります。

人事関係議案は、鹿嶋市教育委員会委員の任命に当たり、議会の同意を求めるものです。

道路関係議案は、市道路線の認定についてなどであります。

認定議案は、令和元年度一般会計及び特別会計などの決算認定であります。

私の説明は以上で終わりますが、予算及び決算認定以外の議案につきましては、総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。